

# 公立高校の 入学者選抜制度が 変わります!

広島県では、令和5年度の公立高等学校入学者選抜(令和5年2～3月実施)から制度が大きく変わります。現在の中学2年生からがその対象で、「広島県の15歳の生徒にどのような力を付けさせたいか」という観点から、入学者選抜制度を改善します。



## 主な4つの変更点は?

- 1 生徒自らが志望校を選べるように各高等学校の教育目標や実施内容(実施する検査の項目や配点)等を事前公表
- 2 調査書は、志望校・氏名・性別・学習の記録(評定)の4点に簡素化
- 3 「選抜(I)・(II)・(III)」を、「一次選抜・二次選抜」の2回とし、入学者選抜に係る期間を短縮
- 4 受検生全員に、面談方式で「自己表現」を実施

## 選抜の方法は?

学力検査：調査書：自己表現＝6：2：2  
※「特色枠による選抜」では、例えば、4：4：2のように、比重が異なる場合もあり

新しい入学者選抜には、一次選抜(一次募集)と二次選抜(二次募集)があります。一次選抜では、「一般枠による選抜」と、入学定員の50%以内で、学校・学科の特色に応じて実施する「特色枠による選抜」の2通りの選抜方式があります(「特色枠による選抜」を実施しない学校もあります)。以下の内容は、全ての学校・学科で実施する「一次選抜」の「一般枠による選抜」のものです。「特色枠による選抜」の内容は、学校・学科ごとに異なりますので、必ず入学者選抜実施内容シートで確認してください。

### 学力検査

- ・配点は、国語・社会・数学・理科・外国語(英語)の5教科×50点
- ・特定の教科の配点を他の教科より高くする傾斜配点もあり



### 調査書

- ・中学校の校長が作成し、受検する高等学校へ提出
- ・中学校3年間の「学習の記録」は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の9教科を5段階で評定
- ・「学習の記録」の学年間の比重は、第1学年：第2学年：第3学年＝1：1：3

### 自己表現

- ・自分自身のこと(得意なことやこれまで取り組んできたことなど)や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現する
- ・受検生は、受検会場で「自己表現カード」を作成。翌日、面談方式で実施

### 独自検査

学科やコースによっては、特色に応じて実技検査や作文などの独自検査を実施する場合あり



## 入学者選抜制度の詳細・最新情報を随時公開中!

新しい制度の詳細内容や使用する各書類の様式などを県教育委員会ホームページで公表しています。生徒向けのリーフレットを作成していますので、併せてお読みください。

最新情報はこちらをチェック

広島県 入学者選抜制度 検索



# ～次世代を担う子供たちの“夢や希望”を実現するために～ すべての公立学校で、「働き方改革」を推進中

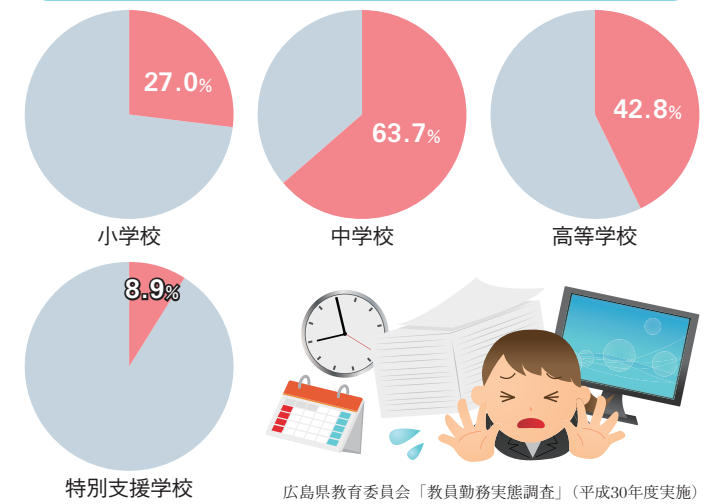
広島県では、小学校で約3割、中学校で約6割、高等学校で約4割、特別支援学校で約1割の教員が、過労死ライン相当以上の長時間労働となっています。教員に限られた時間の中で、心身ともに充実して子供たちと向き合い、授業をはじめとする本来期待されている役割を果たしていくためにも、「働き方改革」を進めていく必要があります。そこで、県教育委員会では、令和2年3月に「学校における働き方改革取組方針」を改定し、教員の時間外労働を国の指針に合わせて、原則1カ月45時間以内、1年間360時間以内にすることを目標にしています。

## 「取組方針」に基づいた各学校における「働き方改革」の取組例

- 勤務時間外の留守番電話対応  
児童生徒の生命や安全に関わる緊急時は、まず警察・消防・病院・児童相談所等へご連絡ください
- 部活動休養日  
週当たり2日以上以上の休養日を設定(平日1日以上、土・日曜1日以上)
- 定時退校日の実施  
週1回以上の定時退校日を実施



## 時間外労働が月80時間(過労死ライン相当)以上の教員の割合



## 保護者・地域の皆さまへお願い

現在、日本全体で働き方改革に取り組んでいるさなかであり、学校現場もその例外ではありません。教員の長時間勤務は致し方ない・やむを得ないという世間の風潮を変えていくため、これまで当り前に対応してきた事柄についても、検討・見直しを行うこととしています。例えば、留守番電話対応や学校閉庁日の実施等については、ご不便に感じることもあろうかと思いますが、子供たちの“夢や希望”を実現するための「働き方改革」に、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 県立学校における閉庁日の実施

### 夏休み

令和3年8月12日(木)、13日(金)、16日(月)の3日間

### 冬休み

令和3年12月28日(火)、令和4年1月4日(火)の2日間

期間中、学校は原則閉庁し、窓口業務は行いません。  
※各種証明書などの発行は郵送でも受け付けますので、事前に学校へ問い合わせください。



## 親子のコミュニケーションを応援!

# 遊びのなかに学びがある

幼い子供は、さまざまな遊びの中から感じる・動く・考える・人と関わるなど、大切な力を身に付けていきます。親子で体を動かしたり、ごっこ遊びを楽しんだりしながら、子供の成長を感じてみてください。遊びは、大切な学びの時間です。

子育てのコツを見よう 親子コミひろしま 検索

親子コミ  
ひろしまネット

